

●悠久の歴史ロマンを訪ねて

大原野神社



概 略

日本の原風景の面影を色濃く残し、日本人のこころのふるさとを彷彿とさせる大原野の里において、藤原氏の氏神であり長岡京を護る大原野神社は、1200年の悠久の歴史を刻みながら今も静かに平安朝の香りを漂わせています。

ここは、洛西ニュータウンができてから家族連れなどでにぎわうようになりました。

また、桜、新緑、紅葉、雪など四季折々に自然が楽しめる洛西屈指のスポットでもあります。

歴史ある神社で、心残る京・洛西の旅の思い出を作ろう！

アクセス

阪急桂駅から市バス、JR向日町駅又は阪急東向日駅から阪急バス南春日町下車、徒歩7分

いにしへの
平安の香り漂う
境内



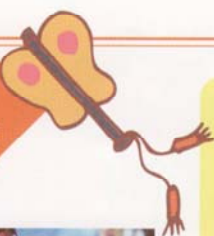
*千の眼があるように見えることからセンガンザクラ(千眼桜)と名付けられました。



*スイレンやカキツバタなど美しい鯉沢池(こいさわのいけ)。

み た かりさい 御田刈祭

神相撲
と
奉納相撲



少年横綱土俵入り奉納



赤ちゃん相撲

大原野神社を訪れた人々は、土俵のあることに驚かれるかもしれません。これは五穀豊穰ごこくほうじょうを奉謝する御田刈祭で相撲神事が始められたことに由来しています。この大原野相撲出身で最も有名な力士が大碓関でしょう。32年ぶりの京都出身の幕内力士で、地元大原野、洛西地域にとっては英雄的な存在です。後に角界で活躍することになる大碓関が子どもの頃に親しんだ土俵、それが大原野神社の土俵なのです。

大原野出身の力士

大碓(おおいかり)

本 名 斎藤剛
(さいとうつよし)
生年月日 昭和47年6月16日
出 身 西京区大原野南春日町
得意相撲 突き、押し
最 高 位 前頭11枚目

*平成7年の初土俵から、
平成16年まで活躍されました。



ありはらのなりひら

在原業平と 大原野神社



大原や小塩の山もけふこそは
神代のことも思ひいづらめ
在原業平



春は、勝持寺(しょうじじ)(花の寺)と並んで桜の名所として名高い大原野神社ですが、平安のプレイボーイとして名高い在原業平にゆかりの神社であるということはあまり知られていないかもしれません。長岡京遷都の際、藤原氏の氏神である春日大社を勧請(かんじょう)したもので、猿沢の池を模した鯉沢の池には、スイレンやカキツバタが群生しています。清和天皇の皇后藤原高子が東宮の御息所と呼ばれていた頃、この神社への行啓に付き添った業平が詠んだ歌が『大原や小塩の山もけふこそは 神代のことも思ひいづらめ』です。

洛西の秘境！ 幻の滝！

おうじょう 王城の滝



ハイカーにとってぜひ訪れたい場所が王城の滝です。神社伝来の古地図にも描かれているその滝は水量、高さ共に小規模ながら、水源は定かではなく、名前にふさわしい威厳と神秘性をたたえています。この自然に湧き出た水が、日照りの続く夏でも途絶えることなく大原野地区を潤してきました。

さらに、緑と苔と樹木に囲まれたその空間には、瞑想するにふさわしい座禅石ざぜんしがあり、古の昔より修験者たちは一切の罪を洗い流すべく修行に励みました。

21世紀の現在でも、靈氣漂うその場にたずめば時空を越え、当時の修験者の魂と一体化する経験ができるかもしれません。



威厳と神秘

とっても
おいしい沢水です!!

* 飲む前には煮沸
してください。

マムシがよく
出るので注意
してください。



水神様神社



大原野神社所蔵 王城の滝図



アクセス

南春日町バス停より徒歩50分